

はじめに

100年に一度とも言われる世界的な金融危機の中で就任したアメリカのオバマ大統領は、経済の回復を環境問題への取り組みをとおして行う『グリーン・ニューディール政策』を打ち出しました。こう



した動きに象徴されるように、私たちの住むこの地球の環境をいかに守っていくかということは、今や全世界共通に求められる課題となっています。

さて、本市は都心から40kmに位置し、55万の市民が住む首都圏西部の中核都市であるにもかかわらず、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンの三つ星に選ばれた高尾山をはじめ、多様な生き物がすむ水とみどりの豊かなまちです。この貴重な自然環境を未来の子どもたちに引き継いでいくことは、私たちの責務であり、私たち一人ひとりの日頃からの環境を大切にする気持ちや保全する取り組みがとても重要と考えます。

本市でも、地球規模での環境をこの地域から守っていこうと、ごみの有料化に続く更なるごみの削減と地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量を削減するため、本年1月29日からレジ袋有料化の実証実験を開始しました。この取り組みについては、地域の住民はもとより、町会自治会、環境市民会議、そして事業者の皆さんの、環境に対する高い意識と積極的な協力があればこそ実現できたものです。

このような市民・事業者の皆さんとの協働による環境づくりをより効果的に進めていくため、昨年度から環境基本計画をはじめとする環境にかかわる4つの計画の策定、見直しに着手しています。

この「八王子市環境白書 2009」では、本市の環境の現状と、市民・事業者の皆さんとの協働により進めてきた市の環境への取り組みとをまとめています。この白書が環境を学ぶきっかけとなるよう、また、環境保全への取り組みに役立てられるよう、皆さんにご覧いただき、活用していただければ幸いです。

平成21年9月

八王子市長

黒須隆一